



センサで
状況把握と情報共有

訪問医療・介護補助システム

Ribbon

医療・介護機関向け



見守りの実証から生まれた「Ribbon」

あしかけ3年にわたる見守りの研究実証にて「見守りシステム」に本当に必要なことは何かを考察してまいりました。その中で、患者様を取りまく医療・ケアスタッフ各位にとって重要なことは **情報把握と共有を楽に行うことができ「見守るべき人」と「見守る側の人」の変化に柔軟なこと** であると考え、Ribbon システムの開発を行いました。Ribbon は、柔軟な運用を支える簡易設置・移設、簡便な毎日の操作を実現したシステムとなっています。

「見守りシステム」の課題

✓ 変化に対応

「見守るべき人」と「見守る側」を柔軟に変更できる

✓ 操作の手間

操作を覚える暇がない
情報が多すぎる、少なすぎる

✓ 導入・運用のコスト

導入作業が大変そう
コストが高い

Ribbonなら…

POINT
1



変化にも柔軟に対応

「見守るべき人」と「見守る側」を柔軟に変更できる

POINT
2



手軽で有効な情報共有

アプリ不要で
スマホ・PCのブラウザ利用

POINT
3



安価で設置が簡単

設置は電源接続のみ
専用の袋に入れ、ぶら下げて使用。

※本サービスは居住者の安全を保障するものではありません。

※医療法人社団小磯診療所、国立大学法人東京海洋大学、湘南信用金庫、株式会社企画の共同研究により開発されたもので、同意のもと販売しております。

機能

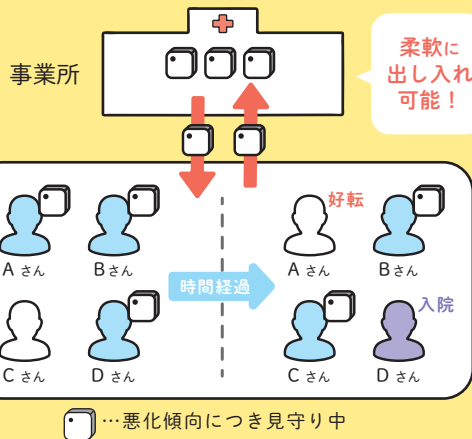
設置・移設がスムーズ

1 事業所でセンサを数台保有し、柔軟に設置・移設することで容体変化や急な入退院にも対応できます。

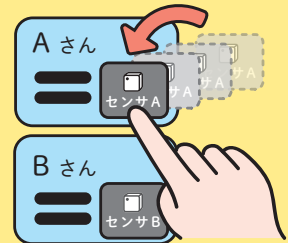
センサの設置は
電源接続のみ！



袋に入れてお部屋にぶら下げて使用。



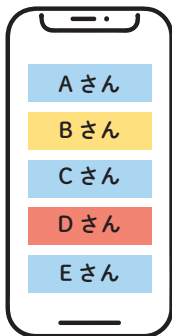
センサの
割り当て設定は
ドラッグするだけ！



※イラストはイメージです

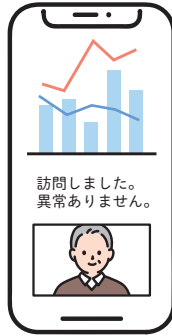
簡単な状況把握と共有

アプリ不要で PC やスマホから簡単操作。異常はメールで通知します。



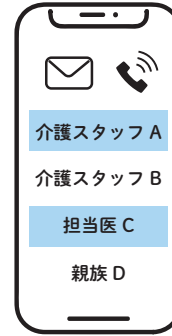
全体把握

ボタンの色で
状況把握。
対応の優先順位が
一目でわかります。



状況確認と共有

コメントや
写真の共有も
簡単に。



相互連絡

電話帳は不要です。
ここから関係者に
即連絡。

Ribbonの有効活用

COVID療養者見守りへの応用

STEP 1



袋入りセンサを渡し各自室へ。
設置は自室のコンセントに刺すのみ。

STEP 2



定時に Ribbon の撮影機能にて
血中酸素濃度計等の画面撮影を
行っていただけます。

STEP 3



医療スタッフは対象者の動体量及び
撮影画像より状態を把握。
また、システム内にて情報共有を
行うことができます。

高齢入居者の安否確認に

不動産業者・オーナーさま向け



Ribbonの見守りシステムを利用し、不動産業者・オーナー
さま向けに展開した「Ribbon.Rooms」を開発中です。

「Ribbon.Rooms」は安否確認を行い、高齢入居者と物件の
保護を目的としたサービスです。高齢入居者の有事を早期
に発見・対応することで、リスクを減らし、高齢者の入居
希望を受け入れやすくなると考えます。

また、その後の訪問医療への適用を視野に入れた仕組みを
「設備をそのままに」展開し既存物件の価値を高め、不動
産業を通じた地域貢献を目指します。

「Ribbon.Rooms」は今夏発売予定です。